

# なますこ

नमस्ते ※「なますて」とは… インドのあいさつで「おはよう」や「こんにちは」の意味で使われます。我々の称える「南無」の語源とも言われています。



## 年忌法要はいつまで？

よく年忌法要はいつまですればいいのでしょうか？という質問をいただきます。まずその前にどうして年忌法要をするのかを考えてみましょう。

「命日」は亡くなられた日、ですね。亡くなられた日であると同時に、その方の命(人生)が完成した記念日ともいえると思います。

ですから命日は当然毎年あります。誕生日と同様に出来るだけ忘れないようにしてあげてください。家族だけでも集まって色々と思い出話をしながら、「いつもこんなことを言ってたなあ」「こんなことをしてもらったなあ」と感謝の気持ちを新たにしましょう。

年忌供養は、一周忌、三回忌、七回忌、十三回忌…と続きますが、菩提寺に連絡して法要を営み塔婆供養をしましょう。出来れば三回忌ぐらいまでは、ご縁のあった方々をお呼びしたいものです。

今はコロナ禍で会食は控えていますが、会食をしながら思い出話に花を咲かせるのも何よりのご供養でもあります。(三回忌ぐらいからは略喪服でもいいでしょう)

昔は、弔い上げは50回忌と言われておりましたが、時代の流れで最近では33回忌をもって最後とする方が多くなっています。知っている人がいなくなった古い仏様でも、ご供養を通して、若い世代に語り伝えていくこと、家族のルーツを確認し、共有する機会でもあると思います。

いずれにしても、追善供養を通して、故人の冥福を祈り、報恩感謝の気持ちを新たに、また自分自身を見つめなおす機会にしていきたいと思えます。



## 豊沢光林寺公園清掃

毎年、皆様にご協力をお願いして行っております「豊沢光林寺公園清掃奉仕」を去る7月10日(日)に行いました。今年は感染拡大防止の観点から少人数にて実施致しました。

ご協力いただきました大瀬川・花巻・豊沢地区の皆様には心より御礼申し上げます。



# 写経体験してみませんか！

- ◎日時 毎月第1日曜日の朝7時から（1時間程度） 初回は9/4（日）
- ◎会場 光林寺本堂
- ◎持物 自分の使う筆、筆ペン、ボールペン等  
手本や用紙は用意します。数珠をお持ちください！
- ◎経費 無料です。

お気軽に参加してみませんか！ 予約は要りません！  
継続できなくても結構です。都合の良い時にご参加下さい

写経とは心静かに落ち着かせ、一字一字お経の文字を書き写すものです。昔から写経は大切な修行であり、大きな功德があると言われていました。目的は色々あるのですが、供養のためであったり、願掛けの為であったり、心の修養の為などが考えられます。

- ①供養の為・・・ 亡くなられた大切な人のために何かできないか・・・ということで、写経をされる方もいます。お位牌やお仏壇に手を合わせ、心を込めて経文を書き写す。最後に「〇〇の供養の為」の文字を入れます。
- ②願掛けの為・・・ 願い事を叶える為の修行のことです。病気の家族のため、子供の受験合格のため、自ら何かを我慢したり、制限をしたりすることで、願い事を叶えるように祈るものです。お酒を断つとか、お百度参りをするとか、霊場巡りをするとか・・・。「耐える」とか、「我慢する」という行いが大切です。
- ③心の修行の為・・・ 一字一字集中して写経することで、心を落ち着かせ、心を清めることが心の修行に繋がります。「利他行」すなわち人のために奉仕をすることも大切な修養になります。

よく、字が下手だから・・・という方がいますが、上手い下手は関係ありません。丁寧に集中して書くことが大切です。お手本をみながら書いていると、自然にきれいな読みやすい字になっていくものです。

## ☆お墓まいりの際の注意事項について

近年、お墓まいりの際にお供え物等の放置や不法投棄、無分別等、一部の参拝者のマナー違反が目につくようになってまいりました。

ご自身のご先祖様への感謝の気持ちと同様に他の参拝者の皆様への心遣いもよろしくお願い致します。

◎可燃・不燃にかかわらず、御供物などは、すべてお持ち帰り下さい。

◎生花や雑草は持ち帰りいただくか、分別の上、墓地西端の草捨て場へお持ち下さい。

